



ふるさと笠松の ちよっといい話

令和2年1月吉日

No.152

道徳のおはなし会を行いました 年長児のみなさんが「あいさつ」について学びました

11月11日松枝保育所、12月11日笠松双葉幼稚園、12月13日下羽栗保育所、12月18日笠松幼稚園、1月10日笠松保育園において、年長児を対象に「道徳のおはなし会」を行いました。

今年度で6回目を迎える「道徳のおはなし会」ですが、回を重ねるごとに保育所等の受け入れ体制も整い、スムーズに会を進めることができました。

会は次のような手順で進みました。

準備が整った後、子どもたちが教室に入ってきます。子どもたちが所定の位置に座ったら挨拶をします。こちらからの挨拶に応じて、大きく元気な声が教室に響きます。とてもうれしい気持ちになります。

次に、「道徳」について簡単に説明した後、挨拶についての話をします。どんな挨拶があるのか、どうして挨拶をするのか、どんな挨拶がよいのかを問い、挨拶に対する関心が高まったところで、道徳絵本（道徳のまち笠松推進会議作成）の読み聞かせに入ります。

この絵本は、主人公の「まつばくん」が学校に行く途中、近所の人に出会います。彼は元気よく朝の挨拶をしますが、人によって応答の仕方が異なります。そこで「まつばくん」は、笑顔になれる挨拶となれない挨拶の違いを考え、心が通い合う挨拶の大切さを知るというお話です。

読み聞かせ終了後、どんな挨拶がよい挨拶なのかを子どもたちと一緒に考えます。

その後、気に入ったページを色塗りします。やはり、まつばくんが笑顔で挨拶している場面を選ぶ子が一番多いようです。どの子も丁寧に色塗りをし、自分だけの絵本の完成です。

子どもたちは、真剣に話を聞き、どんな挨拶がよいかをしっかり考えることができました。子どもたちが日々の生活の中でよい挨拶が実践できるよう、みなさんの協力をお願いします。



活動を終えて・・・6年前に道徳のおはなしを聞いた子どもたちが、中学生になります。彼らが「笠松町あいさつ運動」をどのように展開するのか、とても楽しみです。

発行：「道徳のまち笠松」事務局（笠松町教育文化課）
連絡・問合せ・情報提供は・・・笠松町中央公民館（Tel.388-3231）まで

